



神田外語大学

TOEIC® 企業156社への英語の重要性アンケート結果

2022.03.01

【企業の採用・育成・評価における英語の重要性の調査】

■卒業生入社実績等がある475社にアンケートを実施、156社が回答

【アンケート】

〈実施時期〉 2021年10月

〈アンケート依頼企業数〉 475社

〈アンケート回答企業数〉 156社（回収率32.9%）

〈目的〉

神田外語大学卒業生の就職実績のある企業及び学内会社説明会等に協力いただいている企業(475社)に対し、【採用の際の英語力の重要性】、及び【入社後に求められる英語力や海外赴任に必要とされる英語力】についてアンケートを行った。(GoogleFormを利用してのアンケート)

【(背景) TOEIC®スコア別評価と本学卒業生の平均スコア】

■試験とスコアを理解し、目標設定を行うことがスコアUPに繋がります。

レベル	TOEICスコア	評価(ガイドライン)	2021年3月卒学生平均スコア										
A	860	Non-Nativeとして十分なコミュニケーションができる。自己の経験の範囲内では、専門外の分野の話題に対しても十分な理解とふさわしい表現ができる。Native Speakerの域には一歩隔たりがあるとはいえ、語彙、文法、構文のいずれをも正確に把握し、流暢に駆使する力を持っている。	<p>● 卒業時平均スコア</p> <table border="1"> <tr><th>地域</th><th>平均スコア</th></tr> <tr><td>IC</td><td>747.2</td></tr> <tr><td>英米</td><td>704.3</td></tr> <tr><td>イベロ</td><td>621.8</td></tr> <tr><td>アジア</td><td>547.3</td></tr> </table>	地域	平均スコア	IC	747.2	英米	704.3	イベロ	621.8	アジア	547.3
地域	平均スコア												
IC	747.2												
英米	704.3												
イベロ	621.8												
アジア	547.3												
B	730	どんな状況でも適切なコミュニケーションができる素地を備えている。通常会話は完全に理解でき、応答もはやい。話題が特定分野にわたっても、対応できる力を持っている。業務上も大きな支障はない。正確さと流暢さには個人差があり、文法・構文上の誤りが見受けられる場合もあるが、意思疎通を防げるほどではない。											
C	470	日常生活のニーズを充足し、限定された範囲内では業務上のコミュニケーションができる。通常会話であれば、要点を理解し、応答にも支障はない。複雑な場面における的確な対応や意思疎通になると、巧拙の差が見られる。基本的な文法・構文は身につけており、表現力の不足はあっても、とにかく自己の意思を伝える語彙を備えている。											
D	220	通常会話で最低限のコミュニケーションができる。ゆっくり話してもらおうか、繰り返しや言い換えをしてもらえば、簡単な会話は理解できる。身近な話題であれば応答も可能である。語彙・文法・構文ともに不十分なところは多いが、相手がNon-Nativeに特別な配慮をしてくれる場合には、意思疎通をはかることができる。											

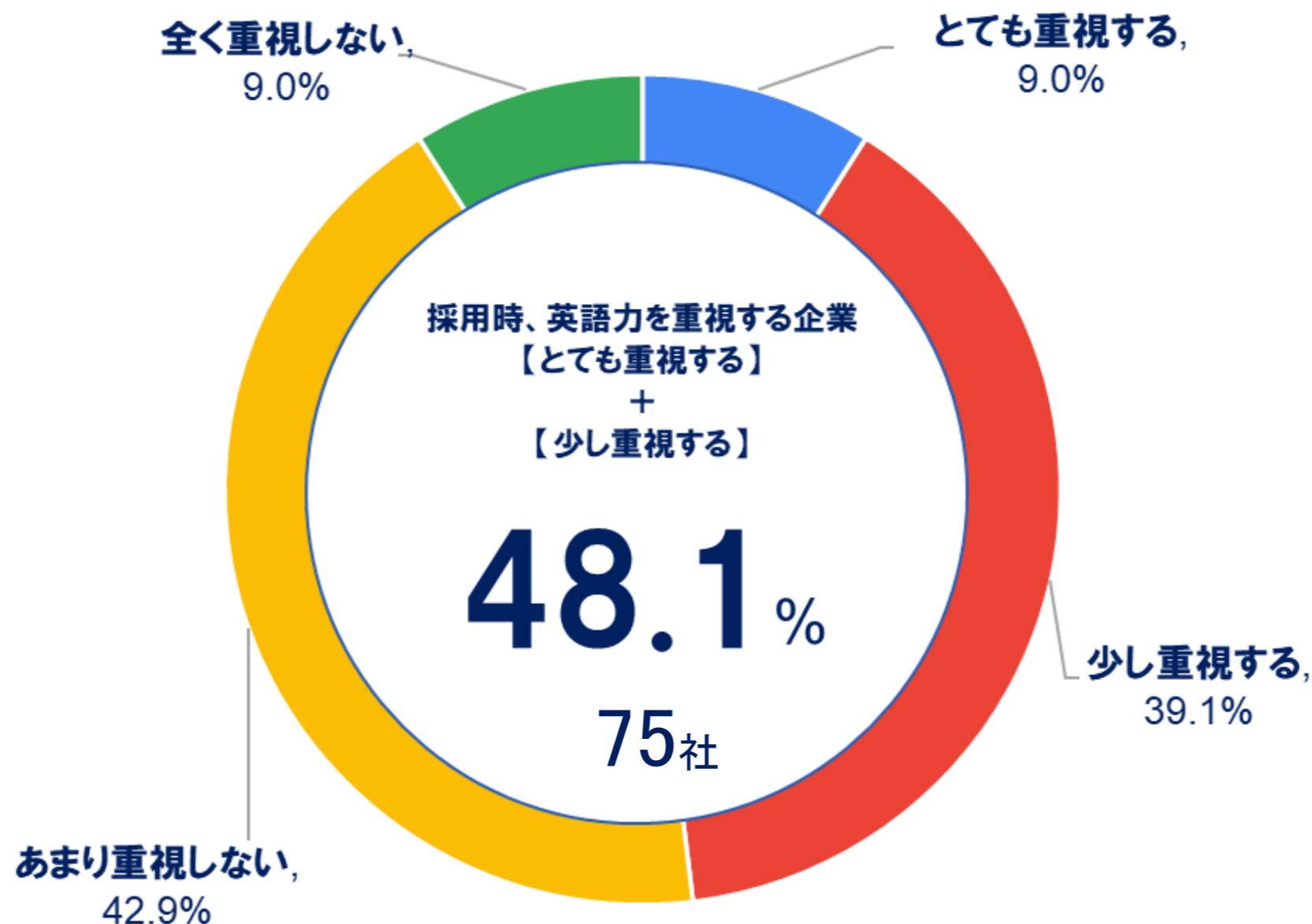
(出所)(一社)国際ビジネスコミュニケーション協会TOEIC®スコアとコミュニケーション能力レベルとの相関表

https://www.iibc-global.org/library/default/toEIC/official_data/lr/pdf/proficiency.pdf

【採用において英語力を評価する企業の割合】

■156社中、英語力を重視すると回答した企業の割合は48.1%

【設問】採用において英語力は重視しますか？



【「英語力をとても重要視する」と回答した企業の理由】

■英語力重要視の理由は【オフィス業務】【英語での接客】【海外現法業務】

【採用にあたり英語力をとても重要視すると回答した企業とその理由（14社中、7社のコメント）】

《消費者への接客サービス・ニーズ》

【運輸・物流】運送取次業（空港グランドサービス・グランドハンドリング）

（理由）「空港においてより多くの外国籍のお客様が増えており、成田においては更に必要性が高まっている。」

【外食】酒場、ビヤホール

（理由）「インバウンド客が都内店舗を中心に増え、毎日接客英会話を使用する状態になった。（コロナ前）」

《オフィスでのデスクワーク・ニーズ》

【製造】不織布製造

（理由）「会社全体で海外との関わりが増加し、業務で英語を使う頻度や英語を使って業務を行う部署が増えている。」

【商社】外資系専門商社

（理由）「グローバル事業が増加し日々の業務で使用が必須。今後は昇格の目安にもする予定。」

《海外現法・海外出張ニーズ》

【商社・卸売・小売】酒小売

（理由）海外事業の拡大に伴い英語を求めるニーズが増えている

【製造】化学機械装置製造

（理由）海外出張業務が増加した

【教育】学習塾

（理由）海外に教室を展開するにあたり、我々スタッフが年に1度海外へ行き、現場の状況等確認することが出来る。さらに指導等対応できるため

【採用において英語力を評価する際に参考にする試験】

■企業が学生の英語力を評価する際に参考にする試験はTOEIC®



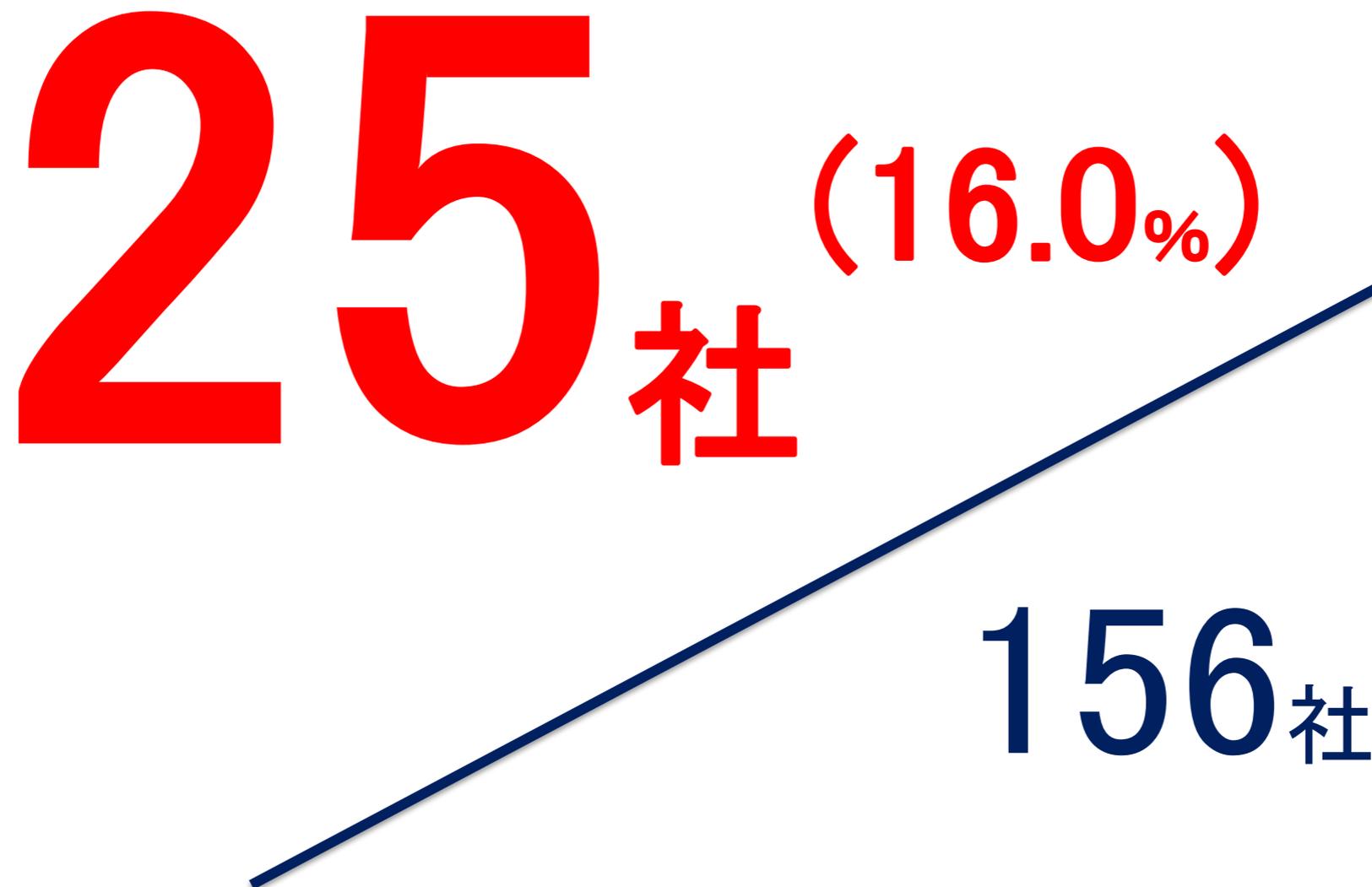
【解説】

アンケートに回答した156社のうち、【採用に当たって英語力をとても重視する、少し重視する】とした76社に英語力を評価する際の試験について質問。

【内定後～入社迄に英語試験実施する会社の割合】

■内定後～入社迄に英語試験を実施する企業は16%

【設問】内定から入社迄の間に英語の試験は実施しますか？

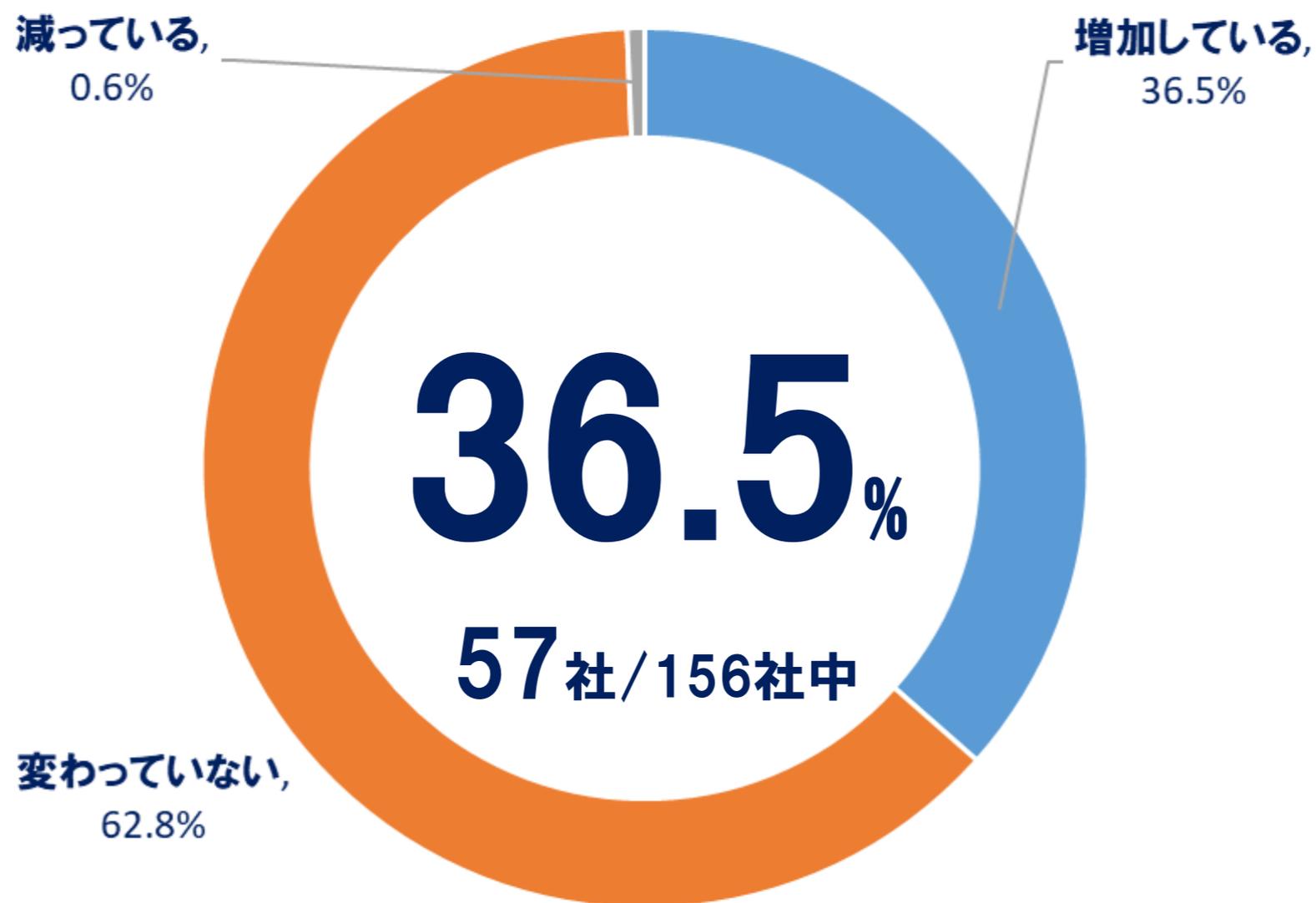


【解説】内定後に英語の試験があることを想定し、卒業迄学習を継続する必要あり。

【5年前と比較し、英語力が重要と考える企業の割合】

■156社中、5年前と比較し、英語力が重要と考える企業は**36.5%**

【設問】5年前と比較し、企業内において英語力の重要度は増加していますか？



【5年前と比較し、英語力が重要と考える企業の理由】

■IT情報通信・その他の業種などでも英語が必要と考える企業あり。

【製造】BtoBの海外法人との業務

(化学機械同装置製造)海外出張業務が増えた/(無線通信機器製造)海外事業の拡大に伴って英語による会話及びコミュニケーションが重要視されている。/(自動車部品製造)入社・昇進時にチェックしている。/(プラスチック板製造)入社時にTOEIC700点を基準とする採用枠を新設/(産業機械装置製造)営業活動において、海外のお客様が增加している。/(不織布製造)会社全体で海外との関わりが増えたため、業務で英語を使う頻度や英語を使って業務を行う部署が増えている。/(弁・同付属品製造)業務において使用する頻度が増えた。/(金属スプリング製造)主に海外駐在、輸出業務など。/(板ガラス加工) 5年前よりTOEICの基準が高くなっています。/(半導体部品製造)社内のニーズとして入社時にそれほど英語を求めていなかったが、各部門で海外と関わる機会が増えてきていたり、若いうちに海外で経験をさせたいことから、入社時の重要度は増してきている。

【IT・情報通信】外国製IT情報機器の翻訳、オフショア業務など

(ソフト受託開発)日本のIT業界の急激な成長に合わせて海外から数多くの製品やツールも導入が進んでおり、翻訳する機会や外国籍の方と接する機会も増えている為、英語だけではなく中国語などの需要や利用する場面が増えてきています。/(ソフト受託開発)外資系の情報端末機器を取り扱う時。/(ソフト受託開発)弊社はIT企業ですが、近年お客様先でオフショア業務が増えてきているため、英語の重要度は増していると考えております。

【運輸・物流】BtoBの海外法人との業務

(港湾運送)顧客に外資系企業が増加。意思決定者の母国語が英語の頻度が増えたため。/(運送取次業)より多くの外国籍のお客が増えており、成田においては更に必要性が高まっております。/(特定貨物自動車運送)若年層の海外派遣に力を入れ始め、TOEIC730点という明確な基準を設けた。/(運送代理店・外資系)本社主導でのプロジェクトが増えており、英語での対応も増えている。/(一般貨物自動車運送)外部(外国人)からの営業等による問い合わせが少しずつ増えている。(運輸・物流)拠点を持つ会社がグループ入りしている。今後も増える可能性がある。

【商社・卸売・小売】海外取引に加え、契約書・商談等の交渉

(各種商品卸)今後は海外駐在員の人数や拠点を増やす予定であるから。/(医療用品卸)海外赴任や現法とのコミュニケーション/(非鉄金属卸)以前は昇格要件にTOEICの基準がなかったが、現在は設定している。(他の一般機械器具卸)海外取引が増え、ネイティブとの交流が増えている為。(産業用電気機器卸)業務を受けるにあたり、語学力のある人が必要と指定されることが増えた(当社業務は基本はエンジニアですが、一部の部署では語学力を必要としています) /(精密機械器具卸)駐在要員/(産業用電気機器卸)5年前よりUS本社とのつながりが強くなり、本社とのコミュニケーションや海外メーカーとのやり取りが増えている。

(産業用電気機器卸)英語の契約書、メール等/(その他の化学製品卸)海外拠点が広がっているのに駐在できる社員が増えない。/(酒小売)海外事業の拡大に伴い英語を求めるニーズが増えている。/(産業用電気機器卸)通常業務時/(生鮮魚介卸)5年前と比べ、取引先に海外企業が増加しているため、商談等の場面において増加している。

【宿泊業・旅行業】コロナ後は再びインバウンドにニーズが予想される。

(旅館・ホテル)コロナ渦の前までは、インバウンドが主流でした。コロナが落ち着けば、またインバウンドが戻ってくると思います。英会話とともに、メールでのやり取りも増えると思います。/(一般旅行業)海外添乗業務において、コースや訪問国の多様化に適応するために必要性が増している。

【その他の業種】

(その他の投資業)昇格試験に英語力の基準を設けた。/(学習塾)海外に教室を展開するにあたり、我々スタッフが年に1度海外へ行き、現場の状況等確認すること、そして指導等対応できるため/(その他の投資業)海外駐在警備業。世界的なイベントが多い日本において、英語能力がある社員にスポットライトが当たるようになっている。/(大学)法人の国際化推進に向けて英語の研修を実施するなどしている。(公務・警察)来日外国人や、定住外国人の増加に伴い、英語の通訳の機会が増加している。

【アンケートから導き出せること】

■英語及びTOEIC®は就職活動時に加え、職業キャリア全体を通して関係する。

【ポイント1】

○採用において企業が英語力を判断する際に参考とするテストはTOEIC®

【ポイント2】

○TOEIC®は内定時迄ではなく、入社後もスコアが要求されるケースなど職業キャリア全体を通じて関連する可能性が高い企業がある。在学中に将来の海外派遣に必要なスコアを満たしておくことは入社後のアドバンテージに繋がる。

【ポイント3】

○外国語が必要な業種は従来の【製造】【商社・卸売・小売】【運輸・物流】に加え、【IT・情報産業】などにも拡がりを見せつつある。